

● 世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）1 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

エトナ（イタリア）（図中A）

昨年 11 月 22 日以降、明瞭な火映が見えるようになり、1 月に活発なストロンボリ式噴火が発生した。

9 日から 10 日にかけてのストロンボリ式の噴火活動が始まった。10 日 00 時 00 分に火山性微動の振幅が急激に大きくなり、00 時 10 分に赤熱した岩片の噴出が始まった。噴火の規模は徐々に大きくなり、頻度も増していった。03 時 50 分には火口縁を超える高さまで赤熱した岩片が噴出されるようになった。12 時頃より、火山性微動の振幅は小さくなり、15 日早朝に噴火は収まった。

16 日夜と 18 日、20 日にも、火山性微動を伴うストロンボリ式の噴火が発生した。雲のため、噴煙の状況は不明だったが、20 日の噴火は、地震計や空振計のデータから、小規模な爆発的噴火であったと推定された。

22 日 18 時 40 分に火山性微動の振幅が急激に大きくなり、18 時 56 分に噴火による火映が見られるようになった。火映の強度は徐々に増大し、爆発的噴火の頻度も増していった。赤熱した岩片が火口上 100 m にまで達し、大量の火山性碎屑物が噴出された。噴火活動は約 12 時間続き、23 日 06 時 00 分に火山性微動の振幅が小さくなり始め、遠望カメラで確認された最後の爆発的噴火は 06 時 35 分であった。その後、ごく少量の火山灰の噴出が散発的に発生し、噴煙は東に流れた。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

